



19足土計収第310号
平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 様

足立区長 鈴木 恒



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

日頃より、足立区の道路行政にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号「中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について」で依頼のありました件について、別紙のとおり、回答いたします。

担当者

土木部計画調整課事業推進係 山崎、松倉

電話 03-3880-5478 (直)

道路整備の中期計画作成に係る足立区の意見

昨年末に「道路特定財源の見直しに関する具体策」が閣議決定され、真に必要な道路整備は計画的に進めこととされたことは、当区にとっても喜ばしいニュースでした。足立区では、安全で安心して暮らし、「まち」が発展していく骨格となる道路の整備に対するニーズは大変高いものがあります。

平成17年3月15日には竹ノ塚駅踏切で4人が死傷するという痛ましい事故が起こりました。事故の再発防止には、連続立体交差事業などの抜本的な対策を講じる必要があります。

また、都と区では平成15年度に都市計画道路の第三次事業化計画を策定し優先的に整備を進める路線を選定しました。区内の密集市街地内での道路整備は、円滑な交通ネットワークを築くことは基より、都市防災対策には欠くことが出来ません。さらに、区内では、施工中の西新井駅西口周辺地区、新田地区をはじめ、千住大橋地区や北千住駅東口地区などの大規模な開発計画が進められています。これらの開発でも、道路がまちの骨格を形成する重要な施設となります。

平坦な地形の足立区では、公共交通の不便地域が多いこともあり、自転車利用が大変盛んです。しかし、自転車による交通事故が多く、安全で快適な利用環境づくりが課題となっています。平成15年度

には「足立区自転車利用環境整備計画」を策定し、環境面への負荷が少なく手軽で便利な交通手段である自転車の利用促進を図るため、自転車の走行環境の整備を計画しているところです。

このような現状を踏まえて、足立区では、今後の道路整備を重点的に進める上で特に優先度の高い政策として、以下の点を要望してまいります。

- ① 「安心・安全」の観点から、足立区では竹ノ塚駅周辺の連続立体交差事業の実現を優先度の最も高い政策の一つに位置づけている。足立区施行として、平成19年度の新規着工準備採択の要望書を提出し、平成19年度予算に盛り込まれている。事業の早期実現に向けて中期計画にも明確な位置づけを要望する。
- ② 足立区内では、30%弱の都市計画道路が未整備な状況にある。これらの路線は既成市街地内にあり、防災・減災の観点から早期整備の必要性が高い。これらの整備には膨大な財源が必要であり、その確保を要望する。
- ③ 足立区は自転車利用者が大変多い自治体である。様々な主体の協働による多様な道路機能の発揮の視点から、交通管理者を含めた自転車レーンの整備の考え方及び整備促進を中期計画に位置づけることを要望する。